

## 1. はじめに

平素は格別なる御高配を賜りまして、誠にありがとうございます。

弊社の会社活動の一つとしまして、各御得意様に弊社の会社内容を今まで以上に知って頂きたいと考え、企画致しました『DAIKIニュース』の第6号をお届けさせていただきますので、お忙しいところ、恐縮ではございますが、御一読下さい。

今回は、弊社中国工場(蘇州大喜金属)への新規設備投入、以前にご紹介のMONO.JPでの取り組み、中国での試作品及び小ロット量産品対応事例、2006年新入社員ご紹介と技術部設立のお知らせを中心に御案内及び配信させていただきます。

今後も、少しでもお役に立てる情報提供を行っていくよう、継続して発行・配信させて頂く所存でございますので、ご愛読の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 2. 蘇州大喜金属への新規設備投入の御案内

2003年の稼動開始以降、順調に稼動させて頂き、随時設備増強を行ってまいりましたが、今回更なる設備増強としまして、200tW順送プレス機と多軸タップ加工機の新規投入を行うこととなりました。

特に200tW順送プレス機は、中国調達によるコスト低減と工程短縮によるコストダウンの両立により、各ユーザー様の厳しいコスト要求に応える為、今回投入するものです。

この200tW順送プレス機は日本のアイダ製で最大で約2400mmの金型まで対応出来ます。また日本製ですので製品の品質確保にも優れており、またこれまで順送対応が出来なかった中大物でも順送加工対応;

可能となります。投入時期は2006年5月末を予定しており、また今回の200tW順送プレス機の導入により、加工設備の展開と致しましては、ほぼ日本側工場と同内容となり、製品の性質・条件に応じて、日本・中国の双方での加工を可能とすることにより、各ユーザー様のご要望に幅広くお応えさせて頂く所存ですので、ご活用をお願い致します。



<新規投入200tW順送プレス機>

### 3. MONO - JPでの取り組みの御紹介と御案内

これまでにDAIKIニュースや弊社営業活動等で、MONO - JPの御紹介と御案内をさせて頂きましたが、今回改めまして、具体的な取り組み事例とともに御案内させていただきます。

#### MONO - JPとは

MONO - JPは弊社のような中小企業によって構成されるネットワークグループであり、完全に独立した会社同志が常に新しい情報と技術を交換しあい、最適で適格な支援体制を確立し、モノ作り全般の企画、デザイン、設計、試作、金型、量産、管理までを一貫して対応させて頂く、これまでにない企業グループです。

このMONO - JPには弊社を含め9社が参加しており、工業デザイン担当、機構設計担当、モデル製作担当、試作担当、量産担当等、各社がそれぞれの専門分野で培ったノウハウとそれを使いこなす知恵と知識と技術力を持ったプロ集団であり、ヒューマニティー溢れるネットワークグループです。

この強力なネットワークにより、これまでは個々に独立して行っていた、デザイン・設計・試作・量産・組立等を一貫して行うことにより、これまで各ユーザー様が苦勞されていた部分を引き受け、具体化していくことを目的とするネットワークです。

#### 具体的事例の御紹介

このたび、MONO - JPでは独自の製品開発と致しまして、アンプ・スピーカーユニットの開発を行いました。その事例により、以下に簡単に御紹介させていただきます。

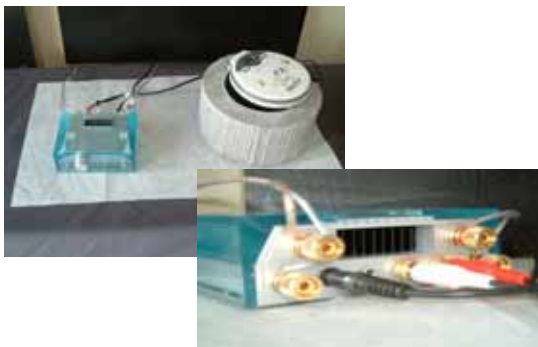


<スピーカーユニット>

このたび、MONO - JPでは、左写真のスピーカーシステムを独自製品として、開発致しました。

当然ながら、機能の選定、デザイン、設計、試作までを独自で行い、また今後量産及び販売を行っていく予定です。

スピーカー内部にはアンプが組み込まれており、当然ながら基板も使用されており、鋳物・プレス等の金属部品、樹脂成型品等構成部品の全てを独自で設計・製造し、形にしました。



<アンプユニット>

このように、MONO - JPではデザインから量産までの全ての対応を行うことができます。

企業単独では出来ないような、高付加価値商品の開発を行うこと可能であり、各ユーザー様とともに物づくりに取り組みをさせていただきます。

ぜひ一度、ご活用をお願い致します。

#### 4. 中国調達による試作品及び小ロット量産品対応の御紹介

弊社では、各ユーザー様への御提案と致しまして、試作品や小ロット量産品等における金型によらない加工品の中国調達を御提案させて頂いております。

最近では製品の低コスト化及び短納期化が以前にも増して急速に進んでおり、これに対応する為の一つの手段としまして、以下に御説明させて頂きます。

##### メーカーの御紹介

今回御紹介させて頂くメーカーは、弊社中国工場(蘇州大喜金属制品有限公司)の近郊(車で約10分程度)にある台湾系のメーカーです。このメーカーはプレス加工用の金型製作と金属板金製作の事業を行っており、弊社も中国工場の立ち上げ以降、現地での金型製作を依頼してきたメーカーです。

##### 保有設備の御紹介

このメーカーでは、金型製作と金属板金製作の双方を行っており、必要な各設備を保有しており、今回は板金加工に必要な主要設備を以下に御紹介させて頂きます。



<ワイヤー加工機>



<レーザー加工機>



<ブレーキプレス機(日本製)>



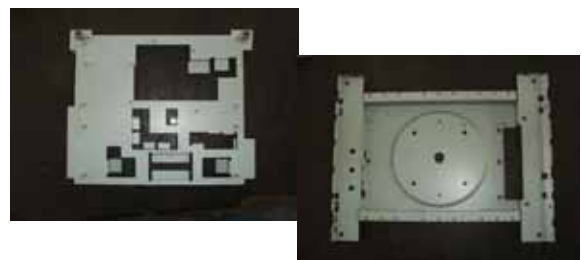
<放電加工機>

御紹介させて頂いた設備以外にも、加工に必要な各種設備を保有しております。

また2次元(DXF)データの対応はもちろんのこと、IGES等の3次元データからの加工対応も行っております。

##### 製品の御紹介

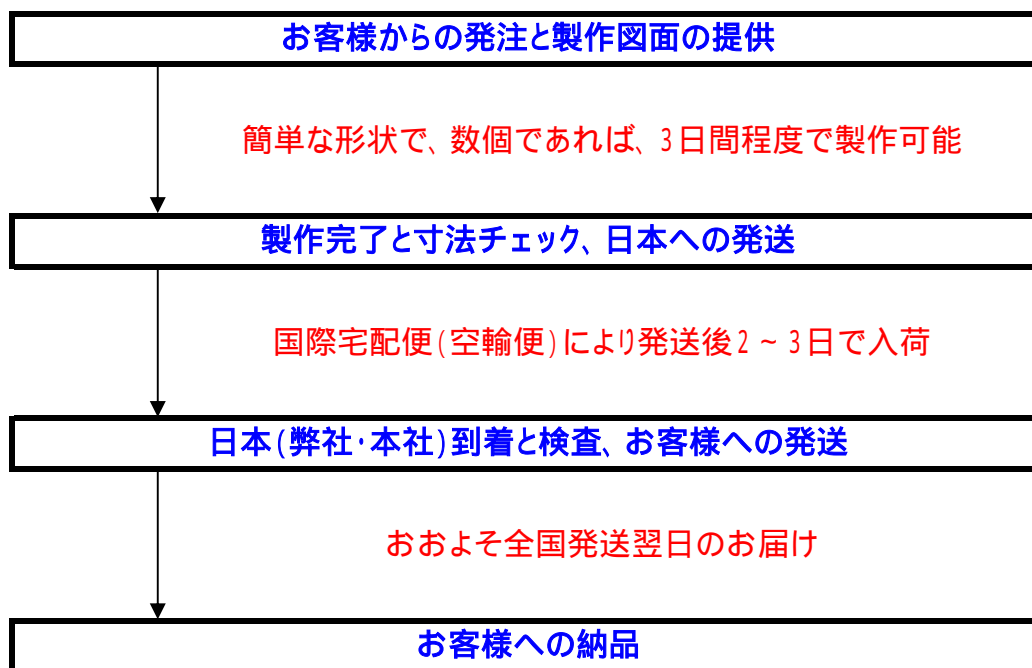
製品例としましては、右側写真にありますように精密部品の加工実績も数多くあり、各ユーザー様のニーズに応じた製品作りを行っております。



## 納期・コストについて

最近では製品の立ち上げ日程の短縮化や低コストが急速に進んでおり、これに伴い前段階の試作や量産試作時においても短納期化と激しいコスト競争が起こっております。

今回御紹介させて頂く中国での試作品及び板金加工品調達は、このような状況に応じる為に、日本での調達と同等の納期、コストは日本の最大で50%安となる場合もございます。製品の形状・精度・数量等によって異なりますが、以下に発注から納品までの日程の一例を御紹介申し上げます。



小ロット品で金型投資等のコストでお困りの場合等には大変有効な手段であると存じます。ぜひ一度、御活用下さい。

## 5. 本年度新入社員の御紹介

本年度4月より、弊社では4名の新卒者を各部署にて採用致しました。簡単ではございますが、以下に御紹介させていただきます。今後ともよろしくお願い致します。



左側より、2006年度4月採用の

赤根 孝治


天辺 傑


于 洪


上甲 和樹


の4名。

< 自己紹介 >

	名前(フリガナ)	赤根 孝治(アカネ コウジ)
	配属予定先	営業部
	出身地と出身校	大阪府出身 大阪産業大学卒業
	学科・学部・専攻等	経済学部国際経済科
	趣味	体を動かすこと(主に球技) スノーボード
特技	野球(大阪産業大学附属高校時代は、野球部の副キャプテンを経験)	
目標	社会人として一日も早く自覚を持ち、ルールを守れる社会人になりたい。	
一言	社会人になりまだ約1ヶ月、長い間学生生活をしていたので、自分では意識していても、まだまだ抜けきれていないと思います。ゼロからのスタートと思い、たくさん勉強して、社会に貢献していきたいと考えています。	

	名前(フリガナ)	天辺 傑(アマベ タケシ)
	配属予定先	製造部
	出身地と出身校	大阪府出身 東住吉工業高校卒業
	学科・学部・専攻等	設備システム科
	趣味	サッカー、ソフトボール 釣り
特技	水泳	
目標	製品の名前や仕事を早く覚えたいと思います。	
一言	これから頑張っていこうと思いますので、よろしくお願いします。	

	名前(フリガナ)	于 洪(ウ コウ)
	配属予定先	蘇州大喜金属制品
	出身地と出身校	中華人民共和国出身 阪南大学大学院卒業
	学科・学部・専攻等	企業情報研究科企業情報専攻
	趣味	中学から大学までバスケット部に所属。野球に興味あり。その他はインターネット、映画鑑賞。
特技	通訳(大学時代、京都の企業で中国人研修生の通訳としての実績あり)	
目標	早く会社の各部署の仕事を身に付けたいと思います。	
一言	みなさんに色々教えて頂き、一緒に楽しく働きながら成長していきたいと思ひます。頑張りますので、よろしくお願い致します。	

	名前(フリガナ)	上甲 和樹(カミコウ カズキ)
	配属予定先	製造部
	出身地と出身校	大阪府出身 生野工業高校卒業
	学科・学部・専攻等	電子機械化
	趣味	映画鑑賞
特技	真剣に取り組めること。	
目標	頑張っって早く仕事や技術を覚えたいです。	
一言	頑張りますので、よろしくお願いします。	

## 6. 技術部設立のご案内

この度、弊社では独立組織と致しまして、技術部を設立し、専任の担当者を配置致しました。主には、お客様との製品立ち上げ時のお打ち合わせやお客様のご来社時の御対応、金型改善による生産性向上及び品質向上を目的に活動しております。

特に、新規品の立ち上げ時には、営業担当者とともに打ち合わせに参加させて頂くことにより、前段階での問題解決を行うことにより、スムーズな量産立ち上げを行うように、努めております。今後も各お客様へお伺いさせて頂く機会が増えると思っておりますので、御愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。また追って詳しくご紹介させていただきます。

## 7. 最後に

『DAIKIニュース』の第5号はいかがでしたでしょうか？今後も各御得意様のお役に立てるような情報提供とする為、少しでも充実した内容となるよう努めさせて頂く所存です。

また皆様のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。より充実した内容とするべく、次回以降に反映させて頂きます。連絡先は下記になっておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

『DAIKIニュース』編集者 (株)大喜金属製作所 [営業部 末利](#)まで

〒547-0027 大阪市平野区喜連5丁目1番54号

TEL:06-6709-3038

FAX:06-6707-8280

[E-Mail:suetoshi@daiki-metal.com](mailto:suetoshi@daiki-metal.com)